



環 境 科 学 会
Society of Environmental Science, Japan

環境科学会 2019 年会

プログラム

期日： 2019 年 9 月 13 日(金)～9 月 14 日(土)

会場： 名古屋大学 東山キャンパス

公 益 社 団 法 人
環 境 科 学 会

環境科学会 2019年会

日 程： 2019 年9 月13 日（金）～ 14 日（土）

場 所： 名古屋大学 東山キャンパス IB電子情報館
〒 464-8601 名古屋市千種区不老町
<http://www.nagoya-u.ac.jp/access/>

交 通： 地下鉄名城線名古屋大学駅下車すぐ
※詳細はアクセス案内をご参照ください。
※お車のご利用はお控えください。

主 催： 公益社団法人 環境科学会

共 催： 名古屋大学大学院工学研究科
名古屋大学大学院環境学研究科

表彰式：

日 時：9 月13 日（金） 16：45 ～ 17：15

場 所：名古屋大学 東山キャンパス IB電子情報館2階 IB大講義室
受賞者：学術賞（2名），奨励賞（2名），論文賞（2編）

交流会：

日 時：9 月13 日（金） 17：45 ～ 19：45

場 所：名古屋大学 東山キャンパス ユニバーサルクラブ（豊田講堂・シンポジオン）

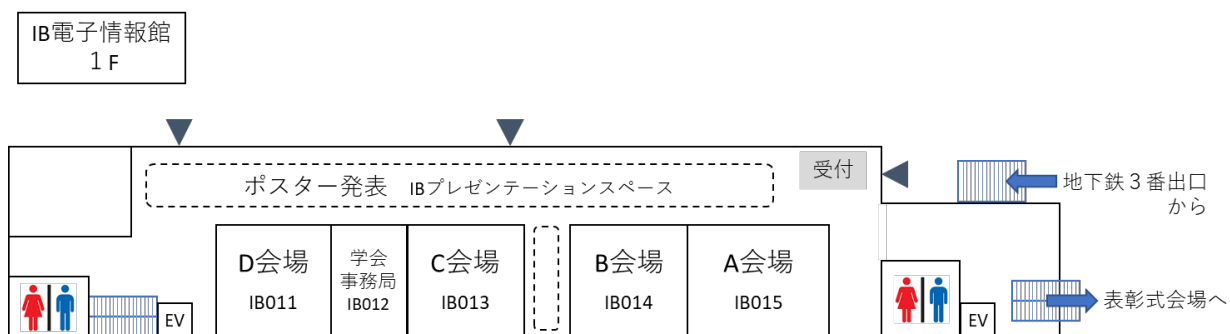
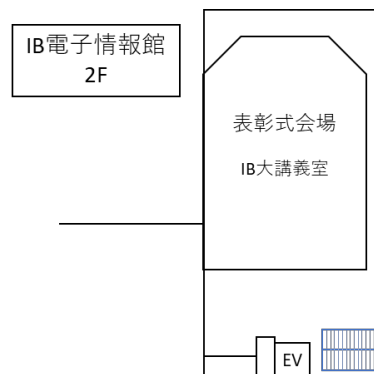
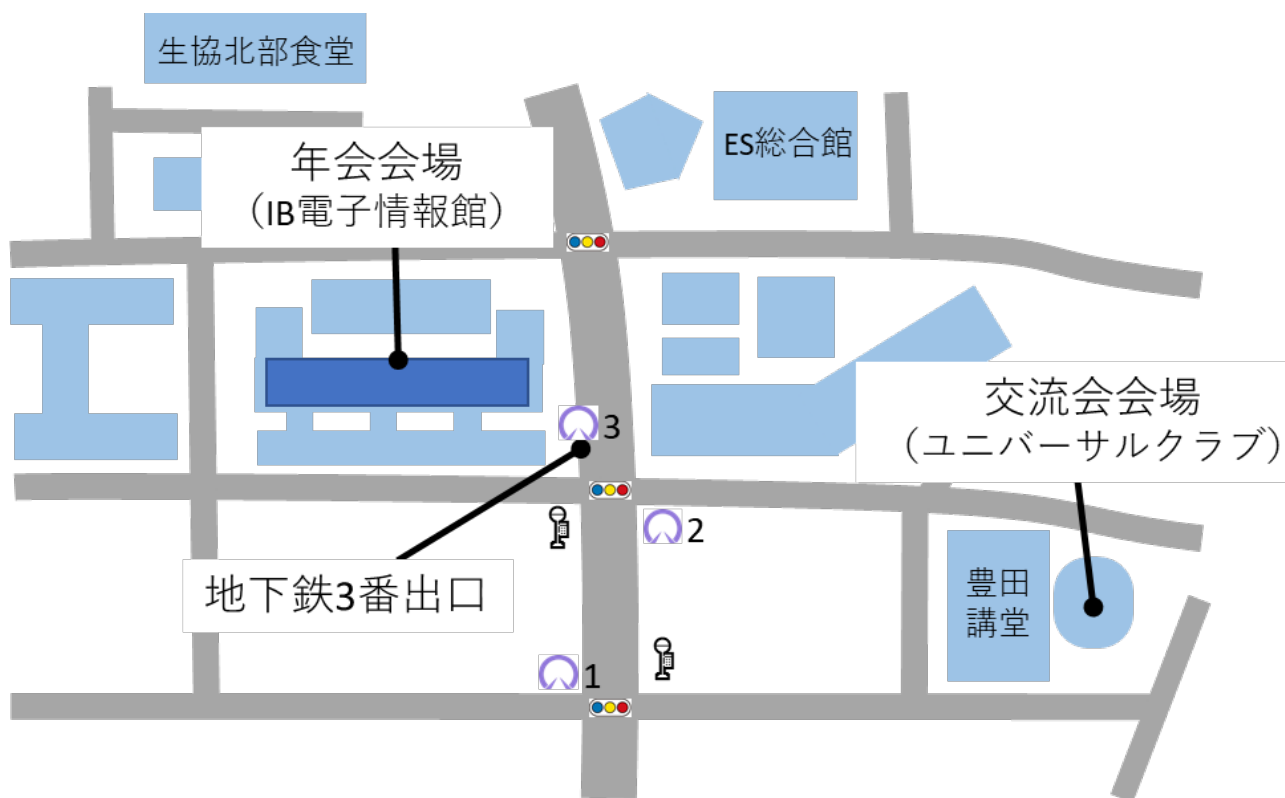
会 費：上記をご参照ください。

※若手育成事業における優秀発表賞，優秀研究企画賞の表彰式を合わせて行います。

※問合わせ先※

- 1）研究発表・プログラム・会場・その他に関するお問い合わせ
公益社団法人 環境科学会 年会委員会（E-mail：nenkai2019@ses.or.jp）
- 2）入会手続きに関するお問い合わせ
公益社団法人 環境科学会 事務局
TEL：03-6824-9383 / FAX：03-5227-8631
E-mail：sesj-office@bunken.co.jp

会場案内



発表者の方々へ

1. 受 付

口頭発表，ポスター発表ならびにシンポジウム，いずれへの参加も，必ず受付にて手続きを行ってください。

2. 発表時間

口頭発表： 15 分（発表10 分，質疑応答及びパソコンの入れ替え5 分）

ポスター発表：9 月13日（金）11：00 までにポスターを所定の場所に掲示してください。

ポスター発表・討論の時間帯は，9 月13 日（金）12：00 ～ 14：00 です。

このうち，**発表・討論のコアタイムは 9 月13 日（金）12：30 ～ 13：30** です。

この時間帯には，発表者は必ずポスター前にて発表を行ってください。

同時時間帯に『優秀発表賞の審査』（投票〆切14：00）が行われます。

上記以外の時間帯は自由に閲覧できます。

シンポジウム：オーガナイザーにお問い合わせください。

3. 発表方法

口頭発表・シンポジウム

- ・各発表会場では， 프로젝터를用意致しますが，パソコンは用意致しませんので，各自でご用意ください。
- ・ 프로젝터はRGB接続（ミニD-Sub15 ピンコネクタ），HDMI接続の両方に対応しております。
- ・セッション開始前に動作確認をお願い致します。時間に余裕をもって進行にご協力ください。
- ・発表時のパソコン操作は各自で行ってください。

ポスター発表

- ・ 掲示は受付後に9：00 から行うことができます。
- ・ 掲示に必要なテープ類は学会事務局で用意致します。
- ・ ポスターパネルの掲示面積は横870mm×縦2070mm（内寸）です。
- ・ ポスターの撤去は，9 月14 日（土）15：00 までに各自でお願い致します。
（15：00 を過ぎても撤去されていないポスターは，年会実行委員会が撤去，廃棄しますので，ご了承ください）

プログラム

会場名		A会場	B会場	C会場	D会場	ポスター会場
部屋		IB015	IB014	IB013	IB011	プレゼンテーションスペース
9月13日 (金)	9:00	9:00 受付開始				ポスター発表 (閲覧のみ) ※11:00までに掲示 してください。
	9:15					
	9:30					
	9:45	シンポジウム-1	シンポジウム-2	シンポジウム-3	口頭発表1D-1 バイオマス 9:30～10:30 奥田哲士	
	10:00	室内環境における化学物質 管理の課題と最新研究動向	創エネ省エネ活動の実施・ 継続・展開ー自然エネルギー 100%大学におけるハートウェア づくりー	気候変動の緩和・適応策として の都市・地域空間構造変更策 の検討手法		
	10:15					
	10:30					
	10:45				口頭発表1D-2 環境評価とシナリオ 10:45～12:00 田畑智博	
	11:00	雨谷敬史	杉本卓也	加藤博和		
	11:15	三宅祐一	江波戸順史	北詰恵一		
	11:30	9:30～12:00	9:30～12:00	9:30～12:00		
	11:45					
	12:00					ポスター発表・討論 12:00～14:00 コアタイム 12:30～13:30 優秀発表賞審査・投票 14:00〆切
	12:15	昼休み 12:00～14:00				
	12:30					
	12:45					
	13:00					
	13:15					ポスター発表 (閲覧のみ)
	13:30					
	13:45					
	14:00	シンポジウム-4	シンポジウム-5	口頭発表1C-3 リモートセンシング 14:00～15:15 大西暁生	口頭発表1D-3 環境意識と環境行動 14:00～15:15 青木えり	
	14:15	環境研究における質量分析の 役割と課題	気候政策に取り組む自治体 ネットワークの動向と課題			
	14:30					
	14:45					
	15:00					
	15:15	高梨啓和	増原直樹	口頭発表1C-4 環境リスク評価・制御 15:30～16:30 三宅祐一	口頭発表1D-4 環境政策・教育 15:30～16:30 村上一真	
	15:30	亀屋隆志	杉山範子			
15:45	14:00～16:30	14:00～16:30				
16:00						
16:15					交流会(若手育成事業表彰式を含む) 17:45～19:45 会場:ユニバーサルクラブ	
16:30	表彰式 16:45～17:15 会場:IB大講義室(2階)					
16:45						
17:00						
17:15						
17:30						
17:45						
18:00						

会場名		A会場	B会場	C会場	D会場	ポスター会場	
部屋		IB015	IB014	IB013	IB011	プレゼンテーションスペース	
9月14日 (土)	9:00	9:00 受付開始					ポスター発表 (閲覧のみ)
	9:15						
	9:30						
	9:45	シンポジウム-6	シンポジウム-7	シンポジウム-8	口頭発表2D-1 環境意識とエネルギー 9:30～10:45 松本安生		
	10:00	より迅速・簡便な水質検査方法 の開発	パリ協定の気候・排出削減目標 の達成に向けた世界・アジア・ 日本の気候政策の統合分析	超学際的アプローチによる統合 型将来シナリオ手法の開発			
	10:15						
	10:30						
	10:45						
	11:00	小林憲弘	高橋潔	馬場健司	口頭発表2D-2 評価・分析法 11:00～12:00 徳村雅弘		
	11:15	吉田仁	増井利彦	増原直樹			
	11:30	9:30～12:00	9:30～12:00	9:30～12:00			
	11:45						
	12:00	昼休み 12:00～13:30					
	12:15						
	12:30						
	12:45						
	13:00						
	13:15						
	13:30	シンポジウム-9	シンポジウム-10	口頭発表2C-3 国際環境問題 13:30～14:45 有村俊秀	口頭発表2D-3 事業所とエネルギー 13:30～14:45 立花潤三	※15:00までに 撤去してください。	
	13:45						
	14:00	化学物質管理促進のための PRTR データの実践的な活用 に向けた課題と取り組み	気候変動影響・適応評価のた めの日本版社会経済シナリオ の構築				
14:15							
14:30							
14:45							
15:00	小口正弘	松橋啓介	口頭発表2C-4 持続可能な開発目標(SDGs) 15:00～16:15 亀山康子	口頭発表2D-4 循環型社会 15:00～16:15 佐伯孝			
15:15	片谷教孝	高橋潔					
15:30	13:30～16:00	13:30～16:00					
15:45							
16:00	後片付け						

※ シンポジウムの枠内の氏名はオーガナイザー，口頭発表セッションの枠内の氏名は座長です。

口頭発表（一般発表）

【1日目（9月13日）午前】

口頭発表 1D-1 「バイオマス」

D会場（IB011）9：30～10：45

座長： 奥田哲士（龍谷大学）

- 1D-0930 小規模普及型メタン発酵システムの稼働状況と今後の展望
○永幡正憲, Farida Hanum, 熱田洋一, 大門裕之（豊橋技術科学大学）
- 1D-0945 廃棄物系バイオマスからのアミノ酸単離
○松本遥加, 薬師寺佑佳, 小林淳（熊本県立大学）, 中島琢自（北里大学）, 石橋康弘（熊本県立大学）
- 1D-1000 熊本県内におけるバイオマスの基礎的データ収集及び事業評価
○高崎春花（熊本県立大学）, 甲斐穂高, 薬師寺佑佳, 中道隆広, 石橋康弘
- 1D-1015 ディスポーザー排水処理槽汚泥からのエネルギー回収に関する環境評価
○金友舞香, 藤山淳史, 松本亨（北九州市立大学）

口頭発表 1D-2 「環境評価とシナリオ」

D会場（IB011）10：45～12：00

座長： 田畑智博（神戸大学）

- 1D-1045 不確実性がある場合における消費者の製品選択
○中野牧子（名古屋大学）
- 1D-1100 無電柱化事業の経済評価：東京都を対象とした税金と寄付金の比較分析
○功刀祐之（松山大学）, 有村俊秀（早稲田大学）
- 1D-1115 中山間地域における木質バイオマスエネルギー利用の経済効果
○角川公崇, 棟居洋介（東京工業大学）, 増井利彦（国立環境研究所）
- 1D-1130 PANCES シナリオに基づく土地利用変化に伴う生態系サービスの変化予測とその地域特性
○服部一紘（東京工業大学）, 芳賀智宏, 松井孝典, 町村尚（大阪大学）
- 1D-1145 気候変動影響・適応評価のための共通的な気候変動予測情報－農研機構メッシュ気候シナリオ
○西森基貴, 石郷岡康史, 遠藤伸彦, 桑形恒男, 滝本貴弘（農研機構）

【1日目（9月13日）午後】

口頭発表 1C-3 「リモートセンシング」

C会場（IB013）14：00～15：15

座長： 大西暁生（横浜市立大学）

- 1C-1400 高頻度中分解能衛星による植生指数のUAVを用いた精度向上に関する研究
○松村寛一郎（東京農業大学）, 杉本賢治（大阪工業大学）, 一ノ瀬俊明（国立環境研究所）, Ram Avtar（北海道大学）, 井上聡（農研機構）
- 1C-1415 **優秀研究企画賞受賞記念講演**：東日本大震災からの復興事業に伴う人為的な地形改変量の推計
○杉本賢二（大阪工業大学）
- 1C-1430 リモートセンシングデータを用いた3次元都市空間の把握方法の検討
○大西暁生（横浜市立大学）, 坂本美波（アジア航測株式会社）
- 1C-1445 空中写真判読による土地利用変化の解析 -ヘルシンキおよびその周辺地域を対象として-
○白木洋平（立正大学）
- 1C-1500 果樹と土壌のオーバーレイ解析
○島崎洋一（山梨大学）

口頭発表 1D-3 「環境意識と環境行動」

D 会場 (IB011) 14 : 00～15 : 15

座長： 青木えり (東洋大学)

- 1D-1400 インドネシアにおける ESD 実施および環境意識調査
○谷川彩実 (熊本県立大学), 蒲原新一 (長崎総合科学大学), 早瀬隆司 (長崎大学),
中道隆広 (長崎総合科学大学), 石橋康弘 (熊本県立大学)
- 1D-1415 環境配慮行動の解釈レベルに関する考察
○山本充 (小樽商科大学)
- 1D-1430 持続可能な食消費に対する意思・行動とその規定要因に関する分析
○藤原なつみ (名古屋大学), 辻隆司 (愛知大学)
- 1D-1445 リユース目的のチャリティーショップの利用意図に影響する要因の検討
○前田洋枝 (南山大学), 渡邊聡 (愛知淑徳大学)
- 1D-1500 高齢者のごみ分別に関する調査: 訪問介護員からみた視点
○田畑智博, 片桐恵子 (神戸大学)

口頭発表 1C-4 「環境リスク評価・制御」

C 会場 (IB013) 15 : 30～16 : 30

座長： 三宅祐一 (静岡県立大学)

- 1C-1530 大阪府での地震災害を想定した化学物質取扱事業所周辺におけるの潜在曝露リスクの評価
○小島直也, 伊藤理彩 (大阪大学), 中久保豊彦 (お茶の水女子大学), Nguyen Thi Hoa,
田渕裕也, 東海明宏 (大阪大学)
- 1C-1545 自然災害が引き起こす化学物質流出事故の給水機能への影響と対策オプション評価
○伊藤理彩, 東海明宏 (大阪大学), 中久保豊彦 (お茶の水女子大学), Nguyen Thi Hoa,
小島直也 (大阪大学)
- 1C-1600 有機物施用による塩類集積土壌の改善—モデル実験
佟麗敏, ○渡邊彰 (名古屋大学)
- 1C-1615 地域リスク評価のための適正な環境モニタリング頻度等の検討
○髙島智恵子, 星純也, 加藤みか (東京都環境科学研究所)

口頭発表 1D-4 「環境政策・教育」

D 会場 (IB011) 15 : 30～16 : 30

座長： 村上一真 (滋賀県立大学)

- 1D-1530 ポスト公害時代の四日市公害を捉える—当事者のオーラルヒストリーを通じて
○宮野智, 大瀧友里奈 (一橋大学大学院)
- 1D-1545 奨励賞受賞記念講演: 環境政策・地域社会における意思決定過程の可視化に関する研究
○岩見麻子 (法政大学)
- 1D-1600 高等教育論における環境教育研究のレビュー—環境科学シンポジウムを中心に—
○内山弘美 (大学非常勤講師)
- 1D-1615 継続調査に基づく環境学習プログラムの効果分析 —中学生を対象とした事例—
○岩川貴志 (循環共生社会システム研究所), 来田博美 (滋賀県地球温暖化防止活動推進センター),
内藤正明 (循環共生社会システム研究所・滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

【2日目（9月14日）午前】

口頭発表 2D-1 「環境意識とエネルギー」

D 会場（IB011）9：30～10：45

座長： 松本安生（神奈川大学）

- 2D-0930 **優秀研究企画賞受賞記念講演**：街なかの緑のカーテンが住民の節電行動と温暖化防止政策への信頼に与える影響の分析
○村上一真（滋賀県立大学）
- 2D-0945 地元新電力会社に対する電力購買意思の規定要因についてーみやま市民アンケートを事例に
○畢亦凡，近藤加代子，譚喬尹（九州大学）
- 2D-1000 ベトナムにおける居場所の選好と持続可能な住まいについて
○王陳ロウ，近藤加代子（九州大学），加藤尊秋（北九州市立大学），包清博之，井上昭雄，畢亦凡（九州大学）
- 2D-1015 ワークショップ手法を用いたタイにおける持続可能なエアコンの消費と生産に利用に向けた政策オプションの導出
○田崎智宏，吉田綾（国立環境研究所），マノマイビブールパナテ（メーファールアン大学）
- 2D-1030 洗濯機シェアリングの消費者受容性：日本・タイの比較分析を中心に
○文多美，天沢逸里（東京大学），田原聖隆（産業技術総合研究所），平尾雅彦（東京大学）

口頭発表 2D-2 「評価・分析法」

D 会場（IB011）11：00～12：00

座長： 徳村雅弘（静岡県立大学）

- 2D-1100 藻類の遅延発光阻害試験を用いた排水管理手法の検討
○伊津野美貴（熊本県立大学），竹内彩乃，勝又政和（浜松ホトニクス株式会社中央研究所），石橋康弘（熊本県立大学）
- 2D-1115 多変量解析と LC-HRMS および GC-O-HRMS の組み合わせによる水道水中の生ぐさ臭原因物質の探索
○新福優太，高梨啓和，中島常憲（鹿児島大学），秋葉道宏（国立保健医療科学院）
- 2D-1130 固相抽出を用いた LC/MS/MS によるイプフェンカルバゾンの分析法の検討
○坂田脩，渡邊弘樹，清野弘孝，吉田栄充，石井里枝（埼玉県衛生研究所）
- 2D-1145 メラノイジン類似生成物の抗酸化能の評価
○秦野賢一，青柳直和，中村洋平，窪田健二，若松馨（群馬大学）

【2日目（9月14日）午後】

口頭発表 2C-3 「国際環境問題」

C 会場（IB013）13：30～14：45

座長： 有村俊秀（早稲田大学）

- 2C-1330 Has Foreign Direct Investment Expanded Environmental Pollution in China?
○呂冠宇（早稲田大学）
- 2C-1345 中国の鉄鋼産業の生産能力削減への国際社会の影響力と CO₂ 削減への効果
○堀史郎（福岡大学），何劼（西南学院大学）
- 2C-1400 中国政府の環境財政投資に関する評価
○朱美華，山下研（アジア大気汚染研究センター），青正澄（横浜市立大学）
- 2C-1415 スペースデブリの国際的規律に関わる宇宙活動法の意義と課題
○松田芳和（名古屋大学）
- 2C-1430 国外の気候変動影響が国内企業の経済活動に及ぼす影響に関する企業意識調査
○亀山康子（国立環境研究所），中島光博（パシフィックコンサルタンツ株式会社）

口頭発表 2D-3 「事業所とエネルギー」

D 会場 (IB011) 13 : 30~14 : 45

座長 : 立花潤三 (富山県立大学)

- 2D-1330 オフィスビルにおける CO₂ 削減対策の実施状況 : 東京都排出量取引制度に着目して
○尾沼広基, 有村俊秀 (早稲田大学)
- 2D-1345 「コミュニティ電力計」を用いた電力消費量の測定と変動要因の分析
○松本安生 (神奈川大学), 刑部真弘, 川名優孝 (東京海洋大学)
- 2D-1400 東京都排出権取引制度が事業所へ及ぼした影響 : 石油等消費動態統計による分析
○矢島猶雅, 有村俊秀, 定行泰甫 (早稲田大学)
- 2D-1415 東京都オフィスビルにおける省エネ取組の効果推計
○鷺津明由, 尾沼広基, 有村俊秀 (早稲田大学)
- 2D-1430 中小規模事業所における省エネポテンシャルの推計
○片野博明, 藤井康平 (東京都環境科学研究所)

口頭発表 2C-4 「持続可能な開発目標 (SDGs)」

C 会場 (IB013) 15 : 00~16 : 15

座長 : 亀山康子 (国立環境研究所)

- 2C-1500 森林分野を事例とした SDGs 達成のための科学・政策インターフェースの課題
○森田香菜子 (森林総合研究所), 松本健一 (長崎大学)
- 2C-1515 生産側からの持続可能な消費と生産フレームワーク : タイとベトナムへの適用
○八木迪幸 (信州大学), 國部克彦 (神戸大学)
- 2C-1530 シェアリング・エコノミーの普及がもたらす環境・社会的影響の検討
-3R 活動と生活時間の観点より-
○阿部直也 (東京工業大学), 中村寛樹 (中央大学), 水野谷武志 (北海学園大学)
- 2C-1545 SDGs 達成に向けた地方ガバナンスの分析 : 下川町の事例を中心として
○片岡八束 (地球環境戦略研究機関), 増田大美 (国連大学サステイナビリティ高等研究所), 森田香菜子 (森林総合研究所)
- 2C-1600 SDGs への対応における認証制度の係わりと課題 : 農業のケーススタディ
○河瀬玲奈 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター), 中井明日香 (中井医院), 内藤正明 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

口頭発表 2D-4 「循環型社会」

D 会場 (IB011) 15 : 00~16 : 15

座長 : 佐伯孝 (富山県立大学)

- 2D-1500 **論文賞受賞記念講演** : 小売業者のリデュース取組はすすんだのか?
○碓井健寛 (創価大学), 田崎智宏 (国立環境研究所)
- 2D-1515 IoT センサを用いた生ごみ堆肥化装置内の発酵物堆積状況把握と収集運搬の効率化
○前田桜我, 松本亨, 藤山淳史 (北九州市立大学)
- 2D-1530 エネルギー回収機能付き廃棄物焼却施設の立地候補地選定システムの開発
○後藤尚弘 (東洋大学), 藤井実 (国立環境研究所), 大西悟 (東京理科大学), 牧誠也 (国立環境研究所)
- 2D-1545 市町村別プラスチックごみ排出量の推計
○中口毅博 (芝浦工業大学), 小澤はる奈 (環境自治体会議環境政策研究所)
- 2D-1600 ごみ処理手数料有料化によるごみ排出削減効果
-関東地方の自治体データを用いたパネルデータ分析-
○望月文太 (東京工業大学), 日引聡 (東北大学)

ポスター発表（優秀発表賞応募発表を含む）

掲示可能期間： 9月13日（金）9：00～14日（土）15：00（15：00までに各自にて撤去願います）

※ 13日（金）11：00までに、ポスターを所定の場所に掲示してください。

※ 14日（土）15：00を過ぎても撤去されていないポスターは、年会実行委員会が撤去・廃棄しますので、ご了承ください。

発表・討論時間：9月13日（金）12：00～14：00（うち、12：30～13：30は「コアタイム」とします）

※ 掲示期間中、ポスターは自由に閲覧することができますが、13日（金）昼の時間帯を発表・討論時間として設定しています。「コアタイム」には、発表者は必ずポスター前にて発表を行ってください。

- P-01 リスク評価を用いた地方自治体におけるアスベスト（レベル3建材）対策の政策目標の検討
○豊永悟史，宮崎康平，古澤尚英，小原大翼（熊本県，熊本環境政策研究会）
- P-02 メダカにおける亜鉛の酸化ストレスに関する評価
○甲斐穂高（鈴鹿工業高等専門学校），石橋康弘（熊本県立大学），山口雅裕（鈴鹿工業高等専門学校）
- P-03 地方自治体の施策へのSDGsの導入に関する考察：森林管理を事例として
○田畑智博，大野朋子，村山留美子，井口克郎，片桐恵子（神戸大学）
- P-04 無機化合物によるめっき排水中の窒素系成分の吸着
○林朋子，小野さとみ（名古屋市工業研究所）
- P-05 台風（熱帯低気圧）の移動による大気バイオエアロゾル輸送
○小林史尚，高原亮樹（弘前大学），浅田元子，中村嘉利（徳島大学）
- P-06 水晶振動子マイクロバランス法を用いた気中水銀測定装置の開発とその応用
○丸本倍美，丸本幸治（国立水俣病総合研究センター），野田和俊（産業技術総合研究所），赤木洋勝（国際水銀ラボ）
- P-07 ラットを用いた水銀蒸気個人曝露モニターの有効性の検討
○丸本倍美，丸本幸治（国立水俣病総合研究センター），野田和俊（産業技術総合研究所）
- P-08 Qualitative surveys on sustainable lifestyles in Thailand, Vietnam and Myanmar
○吉田綾，青柳みどり（国立環境研究所）
- P-09 東京都内水域および大気におけるPRTR対象物質のGC/MSによる網羅分析
○加藤みか，棚島智恵子，星純也，西野貴裕（東京都環境科学研究所），永岡保行，伊藤雄一（東京都環境局），下間志正（東京都環境科学研究所）
- P-10 ミクロネシア連邦ウェノ島における2Rベースライン調査の実施および分析結果
○碓井健寛（創価大学）
- P-11 室内濃度指針値策定VOC試験法の妥当性評価
○田原麻衣子，酒井信夫，河上強志，五十嵐良明（国立医薬品食品衛生研究所），大貫文，斎藤育江（東京都健康安全研究センター），千葉真弘，大泉詩織（北海道立衛生研究所），田中礼子，山之内孝（横浜市衛生研究所），大野浩之，若山貴成（名古屋市衛生研究所），横山結子（千葉県衛生研究所），神野透人（名城大学）
- P-12 Socioeconomic Metabolism of the Central Visayas Region of the Philippines
○Dabon Maria，Tanikawa Hiroki，Okuoka Keijiro（Nagoya University）
- P-13 クロロエチレン等の揮発性有機塩素化合物の土壌溶出濃度と表層土壌ガス濃度との関係の検討
○小林剛，林知美，末継淳，田小維（横浜国立大学）

- P-14 ミャンマーの無電化地域におけるエネルギー需要の予測手法の構築
○阮梦依, Pandyaswargo Andante Hadi, 小野田弘士 (早稲田大学),
Htwe Ei ei (Mandalay Technological University)
- P-15 消毒副生成物間のトレードオフを考慮した高度浄水処理導入による水道水質への影響評価
○北本靖子, 小島直也, 東海明宏 (大阪大学)
- P-16 浸水状態がヨシ (*Phragmites australis*) 地下茎のシュート発生に及ぼす影響
○大野朋子 (神戸大学), 前中久行 (NPO 法人緑の地球ネットワーク)
- P-17 飲食店街区における太陽熱・地中熱ハイブリッド熱源システムの実測評価
吉留大樹, 菊池亮, ○本田亮太, 小野田弘士 (早稲田大学)
- P-18 水道水中の塩素酸・亜塩素酸・過塩素酸・臭素酸の LC/MS/MS 一斉分析法の開発
土屋裕子, ○小林憲弘, 五十嵐良明 (国立医薬品食品衛生研究所)
- P-19 市民参加型による低炭素かつ気候変動に適応した地域社会のシナリオ作成ー滋賀県高島市の事例ー
○金再奎, 木村道徳, 河瀬玲奈 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター),
岩川貴志 (循環共生社会システム研究所), 馬場健司 (東京都市大学)
- P-20 環境システム教育における情報通信技術を活用したアクティブラーニングの可能性
○青木えり (東洋大学)
- P-21 長崎県対馬市におけるバイオマス熱利用拡大の課題と展望
○松村悠子 (大阪大学)
- P-22 SOCIAL ACCEPTANCE OF NEWCOMERS IN RURAL MOUNTAINOUS AREAS - CASE STUDIES IN
SHIRAKAWA TOWN AND HIGASHI SHIRAKAWA VILLAGE
○HA Thi MinhPhuc, Wendy Wuyts, Guo Jing, Doi Ryuusei (Nagoya University)
- P-23 資源効率戦略と低炭素シナリオの統合化
○渡卓磨, 中島謙一, 南齋規介 (国立環境研究所)
- P-24 シラルトロ湖におけるヒシの分布の推移と栄養塩吸収能
○清水日香里, 金澤行宏, 吉田磨 (酪農学園大学)
- P-25 住環境における心理的瑕疵物件の実態調査
○矢島猶雅, 定行泰甫 (早稲田大学)
- P-26 多変量解析と LC-HRMS および GC-O-HRMS の組み合わせによる水道水中の生ぐさ臭原因物質の探索
○新福優太, 高梨啓和, 中島常憲 (鹿児島大学), 秋葉道宏 (国立保健医療科学院)
- P-27 オフィスビルにおける CO₂ 削減対策の実施状況: 東京都排出量取引制度に着目して
○尾沼広基, 有村俊秀 (早稲田大学)
- P-28 Impact of urbanization on CO₂ emissions in China: analysis of 30 provincial administrative units
○Huang Yuzhuo, 松本健一 (長崎大学)
- P-29 食品の加熱調理による多環芳香族炭化水素とその塩素化体の生成と曝露評価
○増田美里, 王斉, 徳村雅弘, 三宅祐一, 雨谷敬史 (静岡県立大学)
- P-30 カンピロバクターを対象とした食品媒介性感染症リスクの定量的評価
○平井宏明, 小島直也, 伊藤理彩, 東海明宏 (大阪大学)
- P-31 バングラデシュにおけるコメ消費に伴う確率論的リスク評価と低減対策の検討
○宮崎淳平, 徳村雅弘 (静岡県立大学), イスラムムハンマド (バングラデシュ農業大学), 王斉, 三宅祐一, 坂田昌弘 (静岡県立大学), 益永茂樹 (横浜国立大学), 雨谷敬史, 牧野正和 (静岡県立大学)
- P-32 バイオガス発電施設からの着色排水の効率的な排水処理技術の開発
○村松孝亮, 徳村雅弘, 王斉, 三宅祐一, 雨谷敬史 (静岡県立大学), 水田一枝 (福岡県農業総合試験場),
矢部光保 (九州大学), 牧野正和 (静岡県立大学)
- P-33 カーシート中主要難燃剤の網羅的調査および直接接触による経皮曝露評価
○三輪春樹, 王斉, 徳村雅弘, 三宅祐一, 雨谷敬史 (静岡県立大学)

- P-34 名古屋市における道路更新に伴う物質ストック・フローの定量化
○松尾佑磨, 奥岡桂次郎, 谷川寛樹 (名古屋大学)
- P-35 観光客数と自然資本の関係について—離島を対象としたパネル・データ分析—
○横濱柊介, 有村俊秀 (早稲田大学), 功刀祐之 (松山大学)
- P-36 都市・森林間の最適な輸送経路による木質資源循環圏の時空間分析
—木曽川流域における搬出優先度を考慮したケーススタディー—
○山下奈穂, 奥岡桂次郎, 谷川寛樹 (名古屋大学)
- P-37 区間残存率法を用いた将来の建設副産物発生量の推計—4d-GIS による北九州市のケーススタディー—
○正木晃平, 奥岡桂次郎, 谷川寛樹 (名古屋大学), 深堀秀敏 (北九州市立大学)
- P-38 かつお節中の多環芳香族炭化水素 (PAH) 濃度低減に向けた製造法の提案
○清健人, 王斉, 増田美里, 徳村雅弘, 三宅祐一, 雨谷敬史 (静岡県立大学), 高木毅, 鈴木進二, 岡本一利 (静岡県水産技術研究所)
- P-39 メガ FTA の拡大による温室効果ガス排出量への影響分析
○高野正光 (北海道大学), 赤堀弘和 (秋田県立大学), 澤内大輔, 日田アトム, 山本康貴 (北海道大学)
- P-40 年代間の同一性判定システムを用いた東京都市圏における物質代謝の推計
○朝隈友哉, 奥岡桂次郎, 谷川寛樹 (名古屋大学)
- P-41 利用区分に応じた物質ストックデータベースの構築—現役・退蔵を考慮した住宅のケーススタディー—
○山本大陸, 奥岡桂次郎, 谷川寛樹 (名古屋大学)
- P-42 Low-carbonization of Water Supply and Sewerage System in Phnom Penh Capital City, Cambodia
○Yong Roitha, Okuoka Keijiro, Tanikawa Hiroki (Nagoya University)
- P-43 A Study on Relationship between Transportation System and Environmental Impact Indicators in Hanoi, Vietnam
○Luong Manh Hung, Okuoka Keijiro, Tanikawa Hiroki (Nagoya University)
- P-44 室内製品との直接接触に伴うリン系難燃剤の経皮曝露量の精緻化と主要曝露経路の推定
○新堂真生, 徳村雅弘, 王斉, 三宅祐一, 雨谷敬史, 牧野正和 (静岡県立大学)
- P-45 The Sustainable Urbanization of Ulaanbaatar city, Mongolia using time series GIS database
○Ishdorj Narantsetseg (Nagoya University)
- P-46 中国内モンゴル自治区赤峰市の水道水使用量を定める要因についての研究
○王荻, 加藤尊秋 (北九州市立大学)
- P-47 超高温可溶化技術に用いる好熱性菌株の可溶化効率の評価
○浅川侑貴, 石橋康弘 (熊本県立大学), 甲斐穂高 (鈴鹿工業高等専門学校), 中道隆広 (長崎総合科学大学)
- P-48 流入下水中の生態毒性物質のターゲットスクリーニングとリスク評価
○田中孝昌, 高梨啓和 (鹿児島大学), 亀屋隆志 (横浜国立大学), 澤井淳, 宮本信一 (いであ株式会社)
- P-49 ネオニコチノイド系農薬ジノテフランから生成する環境変化体のアセチルコリン受容体結合親和性評価
○桐原晃希, 高梨啓和, 大葉佐世子, 中島常憲, 門川淳一, 上田岳彦 (鹿児島大学), 石川英律, 宮本信一 (いであ株式会社)
- P-50 エネルギー利用を考慮した木質バイオマスの物質フロー分析
○平井満規 (立命館大学), 山下奈穂, 谷川寛樹 (名古屋大学), 橋本征二 (立命館大学)
- P-51 自己組織化マップ (SOM)を用いた集合住宅の電力需要予測
○堤徹 (北九州市立大学)
- P-52 V2H を指向した PV と EV の連携による電力需給調整への活用可能性
○田中丸善鴻, 松本亨, 藤山淳史 (北九州市立大学)
- P-53 ポスト公害時代の四日市公害を捉える—当事者のオーラルヒストリーを通じて—
○宮野智, 大瀧友里奈 (一橋大学)
- P-54 廃棄物系バイオマスからのアミノ酸単離
○松本遥加, 薬師寺佑佳, 小林淳 (熊本県立大学), 中島琢自 (北里大学), 石橋康弘 (熊本県立大学)

- P-55 インドネシアにおける ESD 実施および環境意識調査
○谷川彩実 (熊本県立大学), 蒲原新一 (長崎総合科学大学), 早瀬隆司 (長崎大学),
中道隆広 (長崎総合科学大学), 石橋康弘 (熊本県立大学)
- P-56 藻類の遅延発光阻害試験を用いた排水管理手法の検討
○伊津野美貴 (熊本県立大学), 竹内彩乃, 勝又政和 (浜松ホトニクス株式会社中央研究所),
石橋康弘 (熊本県立大学)
- P-57 ディスポーザー排水処理槽汚泥からのエネルギー回収に関する環境評価
○金友舞香, 藤山淳史, 松本亨 (北九州市立大学)
- P-58 小規模普及型メタン発酵システムの稼働状況と今後の展望
○永幡正憲, Farida Hanum, 熱田洋一, 大門裕之 (豊橋技術科学大学)
- P-59 IoT センサを用いた生ごみ堆肥化装置内の発酵物堆積状況把握と収集運搬の効率化
○前田桜我, 松本亨, 藤山淳史 (北九州市立大学)
- P-60 熊本県内におけるバイオマスの基礎的データ収集及び事業評価
○高崎春花, 甲斐徳高, 薬師寺佑佳, 中道隆広, 石橋康弘 (熊本県立大学)
- P-61 富士山ハリモミ林の枯死の原因を探る
大島敦子, ○五味真奈美, 中川春菜 (山梨英和高等学校)
- P-62 ミズダニを指標動物とする水質調査
○大島敦子, 安藤千恵梨, 中澤志歩 (山梨英和高等学校)
- P-63 イソシアネート測定のためのジブチルアミン含浸シリカゲルサンプラーの開発と汚染実態調査
○深澤英, 王斉, 徳村雅弘, 三宅祐一, 雨谷敬史 (静岡県立大学)
- P-64 仮想的放射線リスクラベルに関する行動経済学的研究
○八武崎翔太, 順井達哉, 寺田奈央, 常盤ひかり (獨協大学)
- P-65 排水中の生活由来化学物質の環境負荷低減対策技術の開発
○鰐川雅花, 村松孝亮, 徳村雅弘, 王斉, 三宅祐一, 雨谷敬史, 牧野正和 (静岡県立大学)
- P-66 塩素化多環芳香族炭化水素類の代謝を考慮した有害性評価
○多田智彦, 天野あすか, 清健人, 王斉, 徳村雅弘, 三宅祐一, 雨谷敬史, 牧野正和 (静岡県立大学)
- P-67 衛星画像を用いた建築物及び道路ストック推計に向けた深層学習によるピクセル分類手法の提案
○齋藤隆成, 奥丘桂次郎, 谷川寛樹 (名古屋大学)
- P-68 二次資源量推計に向けた GIS による東京都市圏の建設ストックデータベースの構築
○吉田英立, 朝隈友哉, 奥岡桂次郎 (名古屋大学)
- P-69 北九州市における立地適正化計画が物質ストックに与える影響の定量化
○森田大登, 正木晃平, 奥岡桂次郎, 谷川寛樹 (名古屋大学), 深堀秀敏 (北九州市立大学)
- P-70 開発途上国で多量に使用される有機リン殺虫剤クロルピリホスによるエイジング効果の解明
○船水純那, 五老祐大, 徳村雅弘, 牧野正和 (静岡県立大学)
- P-71 拡散型サンプラーにおける揮発性有機化合物のサンプリングレートの実測と理論的推算法の検討
○大石純菜, 西尾春菜, 王斉, 徳村雅弘, 三宅祐一, 雨谷敬史 (静岡県立大学), 福島靖弘, 鈴木義浩, 榎
本孝紀 (柴田科学株式会社)
- P-72 経皮曝露量測定デバイスを用いた室内製品との直接接触に伴う難燃剤曝露量の推定
○大石真菜, 新堂真生, 徳村雅弘, 王斉, 三宅祐一, 雨谷敬史, 牧野正和 (静岡県立大学)
- P-73 名古屋市中心部における建築物ストックと空き家の詳細分布の把握
○大澤啓裕, 正木晃平, 奥岡桂次郎, 谷川寛樹 (名古屋大学)

企画シンポジウム

【1日目】

シンポジウムー1 9月13日(金) A会場(IB015) 9:30 ~ 12:00

「室内環境における化学物質管理の課題と最新研究動向」

プロジェクト名: 厚生労働科学研究費補助金(H29-化学-一般-004)

「室内環境中の化学物質リストに基づく優先取組物質の検索とリスク評価」

オーガナイザー 雨谷敬史(静岡県立大学)教授

三宅祐一(静岡県立大学)助教

挨拶: 雨谷敬史(静岡県立大学)教授

講演者: ①「室内環境における化学物質管理の課題」

雨谷敬史(静岡県立大学食品栄養科学部)教授

②「室内空気環境汚染化学物質の標準試験法の策定およびリスク低減化に関する研究」

酒井信夫(国立医薬品食品衛生研究所)室長

③ 奨励賞受賞記念講演:

「リスク評価に基づいた環境汚染物質のリスク低減手法に関する研究」

徳村雅弘(静岡県立大学食品栄養科学部)助教

④「シックハウス(室内空気汚染)対策に関する研究:

「シックハウス症候群レベルの室内揮発性有機化合物の吸入暴露の際の海馬 Percellome
トキシコゲノミクスによる中枢影響予測」

北嶋 聡(国立医薬品食品衛生研究所)部長

⑤「災害時における化学物質等の管理の現状と課題」

中島大介(国立環境研究所)室長

総合討論

司会: 雨谷敬史(静岡県立大学)教授

シンポジウムー2 9月13日(金) B会場(IB014) 9:30 ~ 12:00

「創エネ省エネ活動の実施・継続・展開ー自然エネルギー100%大学におけるハートウェアづくりー」

オーガナイザー 杉本卓也(千葉商科大学)准教授

江波戸順歴(千葉商科大学)准教授

挨拶: 原科幸彦(千葉商科大学)学長

講演者: ①「自然エネルギー100%大学に向けてー千葉商科大学が実践する創エネ・省エネ活動ー」

手嶋 進(千葉商科大学)准教授

②「自然エネルギー100%大学に向けてー学生団体 SONE による取組みー」

江波戸順史(千葉商科大学)准教授

③「活動に対する意欲と自己評価ー学生団体 SONE を対象としたアンケート調査ー」

杉本卓也(千葉商科大学)准教授

④「社会へつながる環境人材の育成」

竹内彩乃(東邦大学)講師

総合討論

司会: 杉本卓也(千葉商科大学)准教授

シンポジウムー3 9月13日(金) C会場(IB013) 9:30 ~ 12:00

「気候変動の緩和・適応策としての都市・地域空間構造変更策の検討手法」

プロジェクト名: 環境研究総合推進費 2-1706

「再生可能都市への転換戦略ー気候変動と巨大自然災害にしなやかに対応するためにー」

オーガナイザー 加藤博和(名古屋大学)教授

北詰恵一(関西大学)教授

講演者：①「プロジェクト全体紹介」

加藤博和（名古屋大学）教授

②「気候変動に対応した地域のサステナビリティとレジリエンスを同時に考慮できる評価手法」

朴 秀日（名古屋大学）研究員

③「コンパクト化に向けた住宅エネルギー技術導入効果分析」

北詰恵一（関西大学）教授、井ノ口弘昭（関西大学）准教授

④「徳島東部都市圏の居住環境評価」

奥嶋政嗣（徳島大学）教授

総合討論・質疑応答

討論者：盛岡通（関西大学）社会連携部健康まちづくりプロデューサー（関西大学名誉教授、大阪大学名誉教授）、加藤博和（名古屋大学）教授、北詰恵一（関西大学）教授

司会：加藤博和（名古屋大学）教授、大野悠貴（名古屋大学）研究員

シンポジウムー4 9月13日（金） A会場（IB015） 14：00 ～ 16：30

学術賞受賞記念シンポジウム

「環境研究における質量分析の役割と課題」

プロジェクト名：化学物質管理戦略研究会共同企画

オーガナイザー 高梨啓和（鹿児島大学）准教授

亀屋隆志（横浜国立大学）教授

挨拶：高梨啓和（鹿児島大学）准教授

講演者：①「排水処理プロセス内微生物細胞間シグナル物質の探索」

飛野智宏（東京大学）講師

②「高分解能質量分析計を用いたメタボローム解析による生態毒性評価：適用例と課題」

柳原 未奈（東京大学）特任助教

③「環境省水質要調査項目調査へのスクリーニング分析導入の提案と課題」

栗栖 太（東京大学）准教授

④「未規制懸念物質の包括モニタリングにおける GC-MS AIQS-DB の活用事例」

亀屋隆志（横浜国立大学）教授

⑤「水道水質検査における質量分析の活用」

小林憲弘（国立医薬品食品衛生研究所）室長

⑥「高分解能質量分析を用いた未知物質の構造推定における問題点と限界」

高梨啓和（鹿児島大学）准教授

総合討論

司会：高梨啓和（鹿児島大学）准教授

シンポジウムー5 9月13日（金） B会場（IB013） 14：00 ～ 16：30

「気候政策に取り組む自治体ネットワークの動向と課題」

プロジェクト名：科研費基盤 C(17K00705)

「気候保護政策に取り組む自治体ネットワークの日欧比較」

オーガナイザー 増原直樹（総合地球環境学研究所）上級研究員

杉山範子（名古屋大学）特任准教授

講演者：①「イントロ：気候政策に取り組む自治体ネットワークの動向と課題」

増原直樹（総合地球環境学研究所）上級研究員

②「環境自治体会議 27 年の歩みと新たなステージへの挑戦」

小澤はる奈（環境自治体会議）事務局長

③「環境自治体会議と環境首都創造ネットワークへの参加と自治体間交流」

日比野至（岐阜県多治見市）環境課課長

④「地域から取り組む気候変動対策と自治体ネットワークへの参加」

塩谷 誠（愛知県豊田市）環境部環境政策課課長

⑤「地域気候政策の新たな展開『世界気候エネルギー首長誓約』とその課題」

杉山範子（名古屋大学）特任准教授

総合討論（モデレーター：増原直樹）

司 会：杉山範子

【2日目】

シンポジウム-6 9月14日（土） A会場（IB015） 9：30 ～ 12：00

「より迅速・簡便な水質検査法の開発」

プロジェクト名：平成31年度厚生労働科学研究費補助金

「化学物質等の検出状況を踏まえた水道水質管理のための総合研究」

オーガナイザー 小林憲弘（国立医薬品食品衛生研究所）室長

吉田 仁（（地独）大阪健康安全基盤研究所）主任研究員

挨拶：五十嵐良明（国立医薬品食品衛生研究所）部長

講演者：① 論文賞受賞記念講演：

「水道水中のグルホシネート・グリホサート・AMPAのLC/MS/MS一斉分析法の妥当性評価」

小林憲弘（国立医薬品食品衛生研究所）室長

②「水道水における界面活性剤の固相抽出-LC/MS/MSによる一斉分析法の検討」

木下輝昭（東京都健康安全研究センター）主任研究員

③「水道原水・浄水試料におけるGC/MSターゲットスクリーニング分析法の定量精度について」

高木総吉（大阪健康安全基盤研究所）主任研究員

④「イプフェンカルバゾンの分析法に関する検討」

長谷川有紀（大阪健康安全基盤研究所）研究員

総合討論

司 会：小林憲弘（国立医薬品食品衛生研究所）室長

シンポジウム-7 9月14日（土） B会場（IB014） 9：30 ～ 12：00

「パリ協定の気候・排出削減目標の達成に向けた世界・アジア・日本の気候政策の統合分析」

プロジェクト名：環境研究総合推進費 2-1702「パリ協定気候目標と持続可能開発目標の同時実現に向けた気候政策の統合分析」/ 2-1908「アジアにおける温室効果ガス排出削減の深掘りとその支援による日本への裨益に関する研究」合同報告会

オーガナイザー 高橋 潔（国立環境研究所）室長

増井利彦（国立環境研究所）室長

挨拶：増井利彦（国立環境研究所）室長

講演者：①「世界規模の低炭素政策と持続開発目標」

長谷川知子（立命館大学）准教授

②「アジア主要国における排出構造と削減目標に関する分析」

平山 智樹（みずほ情報総研）コンサルタント

③「アジア主要国を対象とした経済モデルの開発とそれを用いた低炭素シナリオの定量化：インドネシアを例に」

増井 利彦（国立環境研究所）室長

④「アジア域のCCUS法政策と炭素循環システムの社会実装に関する研究」

小松 英司（明治大学）専門研究員

⑤「パリ協定気候目標を踏まえた日本の長期排出経路に関する分析」

大城 賢（京都大学）助教

総合討論

司 会：高橋 潔（国立環境研究所）室長

シンポジウムー8 9月14日(土) C会場(IB013) 9:30 ~ 12:00

学術賞受賞記念シンポジウム

「超学際的アプローチによる統合型将来シナリオ手法の開発」

プロジェクト名: 総合地球環境学研究所コアFS

「超学際的アプローチによる統合型将来シナリオ手法の開発」

オーガナイザー 馬場健司(東京都市大学)教授

増原直樹(総合地球環境学研究所)上級研究員

挨拶: 馬場健司(東京都市大学)教授

講演者: ①「気候変動予測とそのダウンスケーリング」

石川洋一(海洋研究開発機構)プログラム長

②「気候変動を入口とした長良川流域の地域適応シナリオ」

馬場健司(東京都市大学)教授

③「エネルギー政策における長期シナリオ」

永井雄宇(電力中央研究所)主任研究員

④「別府市におけるエネルギー・水ネクサスシナリオ」

増原直樹(総合地球環境学研究所)上級研究員

⑤「IPBESをはじめとする生物多様性分野における将来シナリオ」

齊藤修(国際連合大学)学術研究官

総合討論

コメンテーター: 松井孝典(大阪大学)助教・谷口真人(総合地球環境学研究所)副所長

司会: 馬場健司・増原直樹

シンポジウムー9 9月14日(土) A会場(IB015) 13:30 ~ 16:00

「化学物質管理促進のためのPRTR データの実践的な活用に向けた課題と取り組み」

プロジェクト名: 環境研究総合推進費SII-4

「ライフサイクル全体での化学物質管理に資するPRTR データの活用方策に関する研究」

化学物質管理戦略研究会共同企画

オーガナイザー 小口正弘(国立環境研究所)主任研究員

片谷教孝(桜美林大学)教授

挨拶: 小口正弘(国立環境研究所)主任研究員

講演者: ①「PRTR データを活用した物質フロー・排出インベントリの把握手法の開発」

小口正弘(国立環境研究所)主任研究員

②「下水道におけるPRTR 対象物質の排出量推定手法の高度化」

鈴木裕識(土木研究所)研究員

③「PRTR 制度における排出源管理及び環境改善把握の支援ツールの開発

～簡易に使える実践的なツールに何が求められるか?～」

亀屋隆志(横浜国立大学)教授

④-1「事業者の自主管理を支援するための実践的ツールの開発」

片谷教孝(桜美林大学)教授

④-2「川崎市の化学物質対策と事業者の自主管理支援について」

金井正和(川崎市環境総合研究所)

喜内博子(同上)環境リスク調査課長

時岡泰孝(同上)

重水洋平(同上)

⑤「行政が実施する環境改善の状況把握を支援するためのデータベースの開発」

星 純也(東京都環境公社)副参事研究員

総合討論(研究代表者・分担者・協力者、会場参加者)

司会: 片谷教孝(桜美林大学)教授

シンポジウムー10 9月14日(土) B会場(1B014) 13:30～16:00

「気候変動影響・適応評価のための日本版社会経済シナリオの構築」

プロジェクト名: 環境研究総合推進費 2-1805

「気候変動影響・適応評価のための日本版社会経済シナリオの構築」

オーガナイザー 松橋 啓介 (国立環境研究所) 室長

高橋 潔 (国立環境研究所) 室長

挨拶: 松橋啓介 (国立環境研究所) 室長

講演者: ①「日本の叙述シナリオの構築」

陳 鶴 (国立環境研究所) 特別研究員

②「日本版 SSPs における人口と地域別動向」

松橋 啓介 (国立環境研究所) 室長

③「日本版 SSPs 定量化に関するニーズ把握ならびにデータベース構築」

高橋 潔 (国立環境研究所) 室長・越智 雄輝 (E-konzal) 研究員

④「Development of land use scenarios for Japan based on downscaling of the global SSP land use scenarios」

WU Wenchao (国立環境研究所) 特別研究員

⑤「社会経済シナリオに基づく地域気候リスクの経済評価: 埼玉県を事例として」

本城 慶多 (埼玉県環境科学国際センター) 主任

⑥「埼玉県における適応策の取り組み」

原 政之 (埼玉県環境科学国際センター) 主任

総合討論

司会: 高橋潔 (国立環境研究所) 室長

2019 年度表彰報告

表 彰 委 員 会

2019 年度の環境科学会 学会賞、学術賞、奨励賞、論文賞は、次の方々に贈呈することが、理事会の議を経て決定致しました。各賞受賞者は、2019 年 9 月 13 日（金）～14 日（土）に名古屋大学 東山キャンパスで開催される環境科学会 2019 年会でご講演いただき、表彰式で表彰します。

学会賞

該当者なし

学術賞（2 名）

高梨啓和（鹿児島大学 准教授）

表彰課題：農薬およびその分解物の環境安全性評価・管理に関する研究

馬場健司（東京都市大学 教授）

表彰課題：環境政策の形成に資する合意形成・社会実装化手法に関する研究

奨励賞（2 名）

岩見 麻子（法政大学 特任研究員）

表彰課題：環境政策・地域社会における意思決定過程の可視化に関する研究

徳村 雅弘（静岡県立大学 助教）

表彰課題：リスク評価に基づいた環境汚染物質のリスク低減手法に関する研究

論文賞（2 編）

小林 憲弘*, 木下 輝昭**, 鈴木 俊也**, 高木 総吉***, 吉田 仁***,
望月 映希****, 岩間 紀知*****, 古川 浩司*****, 久保田 領志*, 五十嵐 良明*

（*国立医薬品食品衛生研究所, **東京都健康安全研究センター, ***大阪健康安全基盤研究所,
****山梨衛生環境研究所, *****岐阜県公衆衛生検査センター, *****三重県環境保全事業団）

対象論文：水道水中のグルホシネート・グリホサート・AMPA の LC/MS/MS 一斉分析法の妥当性評価
環境科学会誌, 29 巻 3 号, p. 137-148 (2016)

碓井 健寛*, 田崎 智宏**

（*創価大学, **国立環境研究所）

対象論文：小売業者のリデュース取組はすすんだのか？
環境科学会誌, 29 巻 4 号, p. 191-200 (2016)

[選考経過等]

環境科学会では、学会規程により、環境科学の研究において顕著な業績をあげた研究者に学会賞、学術賞、奨励賞を、また、環境科学会誌に優秀な論文を発表した著者に論文賞を贈呈することが定められています。上記の 2019 年度各賞受賞者の選考経過は以下のとおりです。

表彰規程に従い、環境科学会 Web サイトに 2018 年 12 月 21 日を締め切りとして、各賞受賞候補者の推薦依頼を会告として告示しました。その結果を受けて、2019 年 1 月 28 日に表彰委員会を開催して各賞受賞候補

者を選考し、その選考経過を2月13日に開催された理事会に報告し、理事会の議を経て各賞受賞者が正式に決定されました。

2004年度からは、学会賞受賞者には表彰式後に記念講演を、学術賞受賞者には年会において受賞記念シンポジウムを企画していただき、その中で受賞記念講演を行っていただくよう依頼することとしています。また、奨励賞および論文賞の受賞者についても、年会の関連する一般研究発表あるいはシンポジウムの中でそれぞれ受賞記念講演を行っていただくよう依頼することとしており、現在、年会委員会と協議の上、準備中です。

会員の皆様の年会への多数ご参加をお待ちしています。

最後に、2020年度表彰については、受賞候補者の推薦を2019年末締切として会員の皆様をお願いする予定であることを記して、表彰委員会報告と致します。

[2019年度表彰委員会]

委員長	藤江幸一	横浜国立大学大学院 客員教授
理事	大塚 直	早稲田大学 教授
	田崎智宏	国立環境研究所 室長
幹事	小林憲弘	国立医薬品食品衛生研究所 室長
	三宅祐一	静岡県立大学 助教
委員	甲斐沼美紀子	国立環境研究所 フェロー
	岸本充生	大阪大学 教授
	大門裕之	豊橋技術科学大学 教授
	橘 隆一	東京農業大学 准教授
	田畑智博	神戸大学 准教授
	中井里史	横浜国立大学 教授

エネルギー・環境事業で、
持続可能な社会の実現に貢献します。



公益社団法人 環境科学会 2019 年会

実行委員会

委員長	片山 新太	名古屋大学 未来材料・システム研究所
幹事長	谷川 寛樹	名古屋大学 大学院環境学研究科 都市環境学専攻
幹事	奥岡 桂次郎	名古屋大学 大学院環境学研究科 都市環境学専攻
幹事	笠井 拓哉	名古屋大学 未来材料・システム研究所
委員	赤渕 芳宏	名古屋大学 大学院環境学研究科 社会環境学専攻
委員	加藤 博和	名古屋大学 大学院環境学研究科 都市環境学専攻
委員	白川 博章	名古屋大学 大学院環境学研究科 都市環境学専攻
委員	中野 牧子	名古屋大学 大学院環境学研究科 社会環境学専攻
委員	林 希一郎	名古屋大学 未来材料・システム研究所
委員	渡辺 彰	名古屋大学 大学院生命農学研究科

年会委員会

委員長	松橋 啓介	国立環境研究所 社会環境システム研究センター
理事	大西 暁生	横浜市立大学 データサイエンス学部
幹事	徳村 雅弘	静岡県立大学 食品栄養科学部
幹事	田畑 智博	神戸大学大学院人間発達環境学研究科
幹事	佐伯 孝	富山県立大学 工学部
幹事	青木 えり	東洋大学 情報連携学部
事務局	林 信宏・古川 佳奈	環境科学会 事務局